

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

2021 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1-13-38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号

機構 03 - 143

電話番号 03-3332-3334

代表者氏名 加藤 正樹

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	加藤 喜大	福祉	H1901075
	②	中野 航太	経営	H2001058
	③	加藤 正樹	福祉	H0601051
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	トレジャーキッズにいじゅく保育園			
事業所連絡先	〒	125-0051		
	所在地	東京都葛飾区新宿3丁目27番8号		
	TEL	03-5876-4735		
事業所代表者氏名	脇坂 靖子			
契約日	2020 年 9 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2021 年 1 月 6 日			
利用者調査結果報告日	2021 年 2 月 15 日			
自己評価の調査票配付日	2021 年 1 月 6 日			
自己評価結果報告日	2021 年 2 月 15 日			
訪問調査日	2021 年 2 月 19 日			
評価合議日	2021 年 3 月 12 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、丁寧に説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によりわかりやすく報告しました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021 年 3 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none">1.子ども一人一人の発達を保障し豊かな成長を支えます2.子どもの情緒が安定し、いきいきと自らを成長させることが出来る環境を目指します3.子どもたちにとって第二の家庭でありたいと願っています4.生活や遊びを通して一人ひとりの子どもをよく観察し、乳幼児期に適した環境を整えてあたたかい人間関係を築き秩序ある生活の中で主体性を育む保育を目指します。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none">・常に穏やかであたたかな気持ちで他者と接し、子どもたちが頼りになる存在・忙しい中でも心に余裕を持ち臨機応変な対応が出来る・周りを見て行動し、他クラスや他職種と協力できる職員 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none">・他者の考えを認め、園児と保護者の気持ちに寄り添う・責任感ある行動・正直・誠実であること

調査対象

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。
[調査対象世帯数：63世帯(在園児73名)]

調査方法

園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。

利用者総数

73

利用者家族総数(世帯)

63

共通評価項目による調査対象者数

63

共通評価項目による調査の有効回答者数

31

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

49.2

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」16.1%、「満足」38.7%、「大変満足」と「満足」を合わせて54.8%の回答率となっています。「どちらともいえない」22.6%、「不満」6.5%「大変不満」16.1%、無回答が0.0%でした。ただし、回収率が49.2%にとどまっており、半数近い利用者の意見が反映されていません。個別設問では、問10「職員の接遇・態度は適切か」について「はい」の回答率が96.8%で最も高く、問7「行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か」では「はい」の回答率が22.6%と最も低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	23	4	4	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の74.2%を占め、「どちらともいえない」「いいえ」が12.9%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	23	5	3	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の74.2%を占め、「どちらともいえない」が16.1%、「いいえ」が9.7%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、子どもが園生活を楽しんでいる様子について満足を示す声が多く寄せられました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	20	4	7	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の64.5%を占め、「どちらともいえない」が12.9%、「いいえ」が22.6%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、給食の分量について改善を期待する声が多く寄せられました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	9	6	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の45.2%を占め、「どちらともいえない」が29.0%、「いいえ」が19.4%、「無回答・非該当」が6.5%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	12	6	1	12
この項目では、「はい」と答えた方が全体の38.7%を占め、「どちらともいえない」が19.4%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が38.7%という結果でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	15	13	3	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の48.4%を占め、「どちらともいえない」が41.9%、「いいえ」が9.7%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、防犯カメラ設置に関する意見が多く寄せられました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	12	7	5
この項目では、「はい」と答えた方が全体の22.6%を占め、「どちらともいえない」が38.7%、「いいえ」が22.6%、「無回答・非該当」が16.1%という結果でした。自由記述では、保護者が参加出来る行事の開催回数や日時設定改善を期待する声が多く寄せられました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	17	11	3	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の54.8%を占め、「どちらともいえない」が35.5%、「いいえ」が9.7%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	9	1	4
この項目では、「はい」と答えた方が全体の54.8%を占め、「どちらともいえない」が29.0%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が12.9%という結果でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	30	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の96.8%を占め、「どちらともいえない」が3.2%、「いいえ」「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	24	3	2	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の77.4%を占め、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」「無回答・非該当」が6.5%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	13	13	0	5
この項目では、「はい」と答えた方が全体の41.9%を占め、「どちらともいえない」が41.9%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が16.1%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	25	5	1	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の80.6%を占め、「どちらともいえない」が16.1%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、園児と保育士の関係性についてについて満足を示す声が多く寄せられました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	23	5	1	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の74.2%を占め、「どちらともいえない」が16.1%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が6.5%という結果でした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	13	7	9	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の41.9%を占め、「どちらともいえない」が22.6%、「いいえ」が29.0%、「無回答・非該当」が6.5%という結果でした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	15	6	8	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の48.4%を占め、「どちらともいえない」が19.4%、「いいえ」が25.8%、「無回答・非該当」が6.5%という結果でした。自由記述では、不満や要望への対応について改善を期待する声が多く寄せられました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	15	3	11	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の48.4%を占め、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」が35.5%、「無回答・非該当」が6.5%という結果でした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	法人の運営方針、理念は、事業計画や入園のしおりに明示されています 「子ども一人ひとりの発達を保障し、豊かな成長を支えます。子どもの情緒が安定し、いきいきと自らを成長させる事が出来る環境を目指します。」を理念として、「自分を肯定できる子ども」など4つの目標を「入園のしおり」やホームページに公表し、保護者に説明をしています。職員には、毎年6月に開催している方針発表会、職員会議を通じて、事業の方針や計画を確認、共有しています。単年度の事業計画書は、園長を中心に作成され、中長期計画は、本部を中心に作成されています。	
	事業計画の実現に向けて、各種ツールを用いて、職員との共有を図っています 園長や主任などの役職者の役割や責任は、園長マニュアルやキャリアパスシートに明記がされており、職員会議において、職員と共有を図っています。また、経営層は、各種会議以外に、動画やメールなど様々なツールを用いて、メッセージを頻繁に送っており、直接職員にメッセージが伝わるように工夫しています。全体的な計画など、各職員が理解を深められるように、検討を図っています。	
	重要な案件や課題は園長と本部が連携して対応しています 園の組織体制、施設整備や修繕工事などにかかわる重要な案件については、園長と本部が連携して対応しています。園長は、園長会議に参加し、法人の方針や計画について理解を深めています。決裁された事項については、職員会議やメールを用いて、全職員で共有をしています。保護者に対しては、保護者会や書面を通じて伝えています。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>利用者及び職員満足度アンケートを実施するなど、ニーズの把握に努めています</p> <p>利用者に対しては、満足度アンケート(年1回)や意見箱の設置など、利用者の意向の把握をしています。調査結果に関しては、園長会議や職員会議で共有し、事業計画の策定に反映をしています。また、職員に対して、満足度アンケート(年1回)を実施しているほか、定期的に面談を実施するなど、意向の把握に努めています。そのほか、運営委員会の実施、区主催の園長会議に参加するなど、地域の福祉のニーズを把握し、事業計画の策定に役立てています。</p> <p>本部が策定する中・長期計画に基づき、園長が中心となり単年度計画を策定しています</p> <p>園の中・長期計画は、3月に本部が策定をし、基本理念や重点方針などを明示しています。また、単年度の事業計画は、中・長期事業計画書を元に、園長が中心となって策定をしています。職員とは、職員会議で共有をしているほか、6月に本部が主催する方針発表会でも共有を図っています。予算は、事業部長が編成を担当し、園では、運営や給食、研修などの予算を取り扱う権限が与えられています。</p> <p>単年度事業計画は、進捗状況を確認し、必要に応じて見直す仕組みができています</p> <p>数値目標を定めている重点課題や重点目標は、園児の獲得です。事業計画の進捗状況は、職員会議により職員に伝えていきます。事業計画の内容を年度途中で見直す場合は、事業部会議で検討し、決裁後、園の中で共有が図られるようになっていきます。</p>		

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
<p>理解度チェックテストを用い、職員の理解度を深める工夫をしています</p> <p>法人職員および保育職員として守るべき法や規則について、コンプライアンス研修を実施しています。研修は、入社時に実施され、必要に応じて年1回実施されています。研修後には、理解度チェックテストが実施されるほか、理解度が不足している職員に対しては、個人面談を実施し、フォローを行っています。また、法人内の他施設で重大な案件が発生した場合には、職員会議等で共有が図られています。</p> <p>保護者からの相談・意見・要望・苦情に対する解決体制を整備しています</p> <p>保護者からの相談・意見・要望・苦情への解決に向けた体制として、園のしおり、重要事項説明書に、苦情受付者、解決責任者及び第三者委員の氏名と連絡先を明示しています。また、玄関近くに意見箱を設置し、複数の申出方法を用意しています。意見や要望があった場合には、職員会議等で共有し、対応を行っています。また、苦情があった場合には、報告書を作成し、法人内で共有し、対応を図っています。また、必要に応じて、ホームページで公開をしています。</p> <p>区主催の園長会議に参加し、地域の福祉のニーズを把握しています</p> <p>今年度は、園庭開放・育児相談・子育てひろばの実施や、消防・警察・近隣商店に園児が訪問する計画があり、状況を見ながら実施を進めています。また、区が主催している園長会議などに参加し、地域の福祉ニーズを把握し、地域貢献の取り組みを進めています。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>事故、災害、不審者侵入等のリスクに対し、マニュアルの整備や対策を講じています</p> <p>運営に係るリスクについて、最優先課題として「事故やケガが発生した時の初期対応」を掲げています。次いで、「災害、侵入が発生した時の危険回避」「感染症が発生した場合の対応」を挙げています。これらのリスクは、あらかじめ「危機管理マニュアル・防災マニュアル・感染症対応マニュアル」等の各種マニュアルに集約して明示するとともに、都度必要になる具体的な対応は法人内の園長会議で対策を検討しています。その他の経営リスクについては、職員の確保を重視していますが、働きやすい環境を整えることで高い定着率を維持しています。</p> <p>リスクに対して、法人と連携して、再発防止に取り組んでいます</p> <p>リスクに対しては、職員会議等を通じて定期的に研修を行っているほか、「入園のしおり」や保護者会を通じて、保護者に説明を行っています。事故、感染症、侵入、災害等が発生した場合には、事故報告書に明記をし、園内だけでなく、法人、法人内の他施設とも共有を図り、再発防止策の検討をしています。加えて、法人内の他施設で発生した事故等についても、水平展開が実施され、共有が図られています。再発防止策は、園だよりやその他書面にて保護者に速やかに伝わるようにしています。</p> <p>園内で使用するパソコンは、アクセス権限が付与されるなど厳重に管理されています</p> <p>法人の定める個人情報保護指針に基づき、園内で様々な対策を行っています。個人情報や機密性の高い情報を含む文書については、鍵付きの書庫で保管をし、廃棄の際にはシュレッダーで処理を行っています。また、園内PCでは、アクセス権限が付与され、外部からのアクセスが出来ないようにしているほか、外部媒体記録などの使用も制限がされています。法人全体の取り組みとして、プライバシーマークを取得しており、管理の徹底が行われています。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	3/3
----------------	------------------------------	------------

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

人柄・人間性の高い人材の採用を強化した取り組みをしています
 法人または園が求める職員像については、人事制度における等級定義に記載されています。職員の求人は、ホームページや求人サイトを通じて行っています。求職者の応募を促す工夫として、仕事内容を具体化に記載し、待遇について分かりやすく記載しています。選考にあたっては、人柄・人間性の高い人材を優先的に採用しようとしています。キャリアパスシートの内容は、職員会議、個人面談等で職員に伝えているほか、それぞれの職員に合わせて研修計画が作成されています。

人事評価表を用いて、職員各自が立てた目標の達成状況を確認しています
 人事評価表を用いて、年に2回(上期・下期)、面談を実施し、各職員の振り返りをする機会を持つようにしています。人事評価表では、等級に応じた職務行動評価項目が決められており、職員が自己評価をし、1次評価者として主任、2次評価者として園長が評価をしています。また、その他に、職員各自が目標を立て、それに基づいた評価も併せて行っています。また、職員間の良好な人間関係について、園内だけでなく、本部による面談を行い客観的に把握しています。

職員間のコミュニケーションの強化に対する様々な取り組みが行われています
 職員が日頃の気づきについて意見交換を行う場として、職員会議、昼礼の中で話す場を持っています。また、会議や研修において意見を出しやすくするために、会議の司会や書記の持ち回りにするなど、工夫を怠りません。行事の担当においては、複数の職員による担当制を引くことにより、チームでの取り組みが生まれ、効果が出てきています。今後は、保育の質の向上に向け、プロジェクトチームを設置していきたいと考えています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園の保育目標である、「自分を肯定できる子ども」「感性豊かな子ども」「想像力の豊かな子ども」「思いやりのある子ども」を達成するために、職員が園児一人ひとりと関わる時間をどのように持ったら良いのか、検討した結果、職員の配置を見直すことを課題として取り組んできました。課題の改善としては、人員を増やすことを第一に考え、園と法人が連携をし、積極的な採用に取り組みました。具体的には、園の状況をブログで伝え、園の取り組みが分かるように、積極的にPRを行いました。今年度は、新しい人員配置を基に、職員が連携し、保育目標の達成に向けて、様々な取り組みを行っています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度の目標は、人員配置の見直しの必要性を踏まえた目標に設定されており、対策として、人員の採用による増員に取り組むことが具体的に設定されています。具体的な取り組みとしては、園と法人が連携をし、積極的な採用に取り組みました。今年度は、昨年度の結果から、職員間のコミュニケーションを課題として取り組んでおり、看護師や栄養士が保育室に入り、園児の状況や様子を把握したり、保育士と栄養士が連携し、月齢だけでなく、一人ひとりの発達を考慮した離乳食を提供するなど、職員間の連携が生まれ、コミュニケーションの充実が図られています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

当園は、昨年度、開園して2年目にあたる年でした。、今年度、初めて第三者評価受審を受審しています。園の利用状況を見ると、0~2歳は定員を満たしており、3~5歳について定員に対して若干空きがある状況です。これまでは、保育体制と室内環境の整備を手探りで進めている状況であり、園が安定した運営が出来ることを目標として、進めてきました。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

今年度は、年度途中で園長の交代もあり、今後の園の方向性を考えていく段階にあると考えます。社内に複数の園があり、園それぞれで状況が異なる中で、園長の交代による組織体制の立て直しを急ぐと共に、どこに重点課題を持って取り組むのか検討していくことが期待されます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>関係機関から発信される情報収集に努めています。</p> <p>月に一度葛飾区内にある保育園の園長が集まり、園長会議が開催されています。内容としては葛飾区主催の研修のお知らせ・保育等に関連する補助金制度等のお知らせ・区内における感染症の現状等が挙げられます。園長会議で知り得た有益な情報は、現場職員と共有しています。</p> <p>園のホームページでは園の概要や保育目標、日中の様子などをわかりやすく伝えていきます</p> <p>園のホームページには園の概要や保育目標、利用者負担金の情報や職員からのメッセージ、系列園の情報などが掲載されています。又、園で過ごす子どもたちの様子はブログに掲載しており、ホームページ内から閲覧することが出来ます。園では、ブログ担当が中心となって月に2回程度の頻度で情報を更新しています。今後は、食育活動など園で取り組んでいる活動をホームページに掲載するなど、内容の充実に向けて取り組んでいく予定です。</p> <p>園を直接見学しながら、園の様子や特徴を分かりやすく説明する機会を作っています</p> <p>見学は園の方で調整した日程で原則実施していますが、出来る限り、希望者の希望日時に合わせて対応をしています。見学対応は主に園長が行ない、園の概要・保育理念・保育目標等が記載されたリーフレットに沿って、園の中を直接案内しながら、園の様子、特徴などを説明しています。園の特徴として、子どもたちの気持ちに寄り添う保育や子どもたちの主体性を育む保育等が挙げられ、見学者に分かりやすく伝え、理解してもらえるような工夫を行っています。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園時には個人面談を実施し、園の取り組みや保育内容について説明をしています 入園予定者に対して、事前に食物アレルギーに関する調査票や写真掲載の同意書・児童票、個人情報保護に関する書類などを送付しています。後日、事前に送付した書類を元に、三者で入園面談を行っています。園の取り組み、保育内容を説明するとともに、入園までの生活状況、既往歴、アレルギーの有無、送迎者の確認、保育時間、通園経験、子どもの性格などについて聞き取りをしています。入園面談で聞き取った内容は記録として残し、昼礼や職員会議を通して職員と情報を共有しています。</p> <p>入園時は慣れ保育を通して子どもの状況を把握し一人ひとりに合わせた対応をしています 入園当初は、入園面談で聞き取った内容のもと、1週間を目途に慣れ保育期間を設けています。この期間は、主に職員が子どもの様子を把握することや、保護者の保育に対する理解、保護者と園との関係を深めることを目的としています。また、子どもの状況や保護者の就労状況、要望に応じて、期間や時間を調整しています。園での子どもの様子は、連絡帳や送迎時の際、口頭にて保護者の方に伝えていきます。</p> <p>卒園後も行事の招待状を送付し、継続した関わりを持つようにしています 卒園や転園、退園などで園を離れる子どもに対して、手作りのアルバムをプレゼントしています。卒園する子どもは、園から就学先の小学校に連絡をとり、子どもに関する情報を伝達をしています。今年初めて卒園がありますが、子どもや保護者が卒園後も園との継続的な関わりが持てるように、園で行う行事の招待状を送付する予定です。</p>			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
園児やクラスの情報は全体会議、クラス別会議や職員ミーティングで共有しています 子どもたちの情報や食育・給食に関すること、保育現場の現状や保護者からの要望等は主に会議や職員ミーティングによって情報共有しています。会議は、全職員対象の全体会議を月に1回、クラス別の会議を月2回の頻度で開催しているほか、園の状況に応じて臨時で会議を開催しています。会議実施の際には、議事録を作成し、参加できなかった職員は、議事録で補うようになっています。また、職員ミーティングでは、申し送り票などを使い、情報を共有しています。会議録や申し送り票を閲覧した職員は、閲覧名簿に捺印をし、確認しています。		
保護者に対して、全体的な計画を重要事項説明書と合わせて説明しています 最新の全体的な指導計画は、令和2年2月に作成しています。保護者に対しては、全体的な計画を重要事項説明書と合わせて説明しています。その上で、指導計画は年間・月間・週間毎に作成し、0～2歳児クラスについては個別にも作成しています。		
個々の生活状況や心身に関することを把握し、保護者と連携した保育を実践しています? 入園面談において、健康面・食事・排泄・着脱・睡眠・清潔などの生活習慣に関する内容を確認すると共に、登園時や降園時のときなど、保護者から直接様子の聞き取りを行うなどの情報収集を行っています。また、個別のニーズや園に対する要望の把握に努めるなど、保護者との連携を大切にしています。収集した情報は、児童票、成長記録や引継ぎノートなどに記載し、他の職員と共有をしています。		

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>園の設備や保育内容それぞれで子どものプライバシー保護を実施しています 園では、入園前に個人情報保護の方針を保護者に説明すると共に、個人情報保護の取り扱いについての同意書にサインをしてもらっています。突発的に個人情報を提供する必要が発生した場合は、都度、お便りの配布や電話などにより同意を得ています。また、子どもたちの羞恥心に配慮した取り組みとして、年齢に応じてトイレにドアを設置したり。着替えについては部屋で実施し、全裸にならない着替えを行っています。また、プール遊びは園庭とテラスで行なっており、外部から中の様子が見えない様に工夫をしています。</p> <p>虐待防止に向けてマニュアルを整備し、年2回研修を行っています 子どもの権利を尊重する取り組みの一つとして、ハラスメントと人権マニュアルを作成し、年2回、虐待研修を開催しています。直近では、改正児童虐待防止法をテーマに実施しています。また、職員の休憩室内に人権教育に関する書籍や研修資料を設置し、いつでも閲覧ができるようになっています。今後は、職員が日常業務の中で振り返りが行えるように、人権擁護のセルフチェックシートの作成、研修プログラムの充実化を図る予定です。</p> <p>遊びや生活習慣について各々が抱える価値観に配慮した対応を実践しています 子ども一人ひとりによっても価値観は異なり、各家庭・保護者の価値観もそれぞれ異なります。更に文化によっても価値観が異なるなど、様々な価値観の違いが生じてくる中で、遊びや生活習慣については、個々に合わせた対応を実践するなどの配慮を行っています。子どもに関しては、その時に子ども自身が感じた気持ちを受け止めながら、子どもの意思をできる限り尊重しています。保護者に関しても、各々が持ち合わせている価値観に配慮した対応を心掛け、園の様子を共有しながら各家庭で過ごされている生活リズムを大切にしています。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>全職員に保育実践ハンドブックを配布し、活用しています</p> <p>法人内で共通して作成・活用しているマニュアルとして、運営の手引き・保育実践マニュアル・健康管理マニュアルを整備しています。また、園で独自に、お散歩コースと公園での遊び方マニュアルなどのマニュアルを作成しています。マニュアルに沿った業務の実施状況は、2月に確認しています。業務の実施については、主任保育士や本部が中心に確認しています。園は、全職員に保育実践マニュアルを配布しており、職員は分からないことが起きた場合や、業務点検の手段として活用しています。</p> <p>日々の業務の中でチームビルディングを意識した取り組みを行っています</p> <p>今年度、重点課題として「チームビルディング」を掲げています。園内研修では、園をより良くするために必要な項目を各職員が挙げる機会をつくり、「認める気持ち」「向上心」「伝える力」「判断力」などが挙がりました。職員で共有した項目は、一つの用紙にまとめ、職員休憩室に設置し、日々の業務の中で意識できるように工夫しています。また、本研修をきっかけとして職員の主体性や職員同士のつながりが生まれています。</p> <p>保護者の声を受けて、サービスの見直しを定期的に行っています</p> <p>園に対する要望やご意見等に関しては、子どもの登降園時に保護者から直接職員に言われるケースがあります。いただいたご意見に対しては、保育の品質向上のために前向きに捉えて対応をしています。直近では、行事の際の座席の配置や、ベビーカー置き場の使い方について見直しを行っています。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評				
<p>保育環境のコンセプトを「家庭のリビングのような保育室」としています 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などは、入園時に確認した家庭での様子と、日々の保護者との会話や個人面談などから子どもの全体的な姿を把握しています。子どもたち全員が同じ活動を行うのではなく、やりたくない子どもがいたらその子の気持ちに寄り添いサポートしていきます。なお、保育環境のコンセプトを「家庭のリビングのような保育室」としています。居心地の良い生活環境において、子どもたちのやりたい遊びが自分で選べるようになるように工夫しています。</p> <p>日本の文化や異年齢交流を取り入れ、子どもの成長のサポートをしています 園では、地方の文化や異年齢の子どもたちと触れ合うことを通して、子ども同士が年齢や地方における習慣の違い等、互いに尊重する心を育てる機会を提供しています。具体的には、月1回、地方の郷土料理を給食として提供し、日本の文化に触れ合う機会を定期的に行っています。また、異年齢交流として、園外散歩・テラスでお食事・一緒に体操を行うなどの園内行事を実施しています。</p> <p>園児一人ひとりの発達を理解し、気持ちに寄り添う保育に努めています 園内ではかみつきなど、子ども同士による喧嘩やトラブルが生じることがあります。まずは保育士が仲裁に入り、当事者の子の主張を聞き取ります。子どもの発達状況やトラブル発生前後などの状況の把握を行った上で、自身が行った行動はいけないうことだと諭していくなど、気持ちに寄り添いながら根気強く対応にあたっています。園内で発生するこのような子ども同士のトラブル等が発生した場合、状況を昼礼で報告し、全職員に情報を共有する仕組みになっています。</p>				
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評				
<p>年齢別に設定された生活習慣チェックシートに基づき、指導を行っています 園児の発達の段階と支援の方法は、全体的な計画に記載されています。また、基本的な生活習慣については、身につけたい基本的な生活習慣チェックシートに基づき、成長発達に則した指導を行っています。午睡時に服を着替えたり、箸を使ったビーズつかみゲームをしたり、鏡の前に座って歯磨きをしたりと、生活の流れの中で経験を積み重ねています。トイレトレーニングについては、1歳の始めから1日1回便座に座るように、タイミングを見て誘っています。</p> <p>登園、退園時に保護者との関わりを深めながら子どもの成長をサポートしています 登園時には必ず対応した職員が子どもに対して視診を行い、体温、家庭での様子や迎への送迎時間などを保護者から確認しています。食事や排せつなどの生活に欠かせない動作のトレーニングにおいては各家庭での状況やその子の状態に左右される場合があるため、保護者との連携を積極的に実施しています。また、降園時には、保護者に対して、当日のエピソードや健康状態を直接伝えるようにしています。また、当日の活動内容を、「張り出し日誌」として掲示しています。</p> <p>入眠時間と長さを調整し、子どもに合わせた午睡(休息)を実施しています 子どもの年齢や体調、保護者の要望、登園時に聞き取った前日からの睡眠状態などから入眠時間や長さを調整するなどの配慮をしています。また、午睡中は定期的に子どもたちの様子をチェックしています。早く目を覚ました子どもに対しては無理やり寝かすことはせず、他の寝ている子どもが起きないように絵本を読んで過ごすなどの対応をしています。</p>				

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>保育室内に遊びのコーナーを設けるとともに、多様なプログラムを設けています</p> <p>保育室内には「ままごと・絵本・カプラ」などのコーナーを設けています。また、クラス全体で取り組む日々の活動として、多様なプログラムを設けています。例えば、園児同士が意見交換をする機会として、4.5歳児クラスの朝の会や帰りの会を、言葉に対する感覚を養うための絵本や紙芝居を用いた読み聞かせなどを行っています。さらに、音楽的な表現力や体幹を育む機会としてリトミック・リズム体操・ダンスを、そして絵画的な表現力を育む機会として絵具やクレヨン等を使用した絵画あそび等を行っています。</p> <p>園庭遊びや散歩を積極的に行い、子どもが戸外で遊んだり自然に触れたりしています</p> <p>園庭では、鬼ごっこ・砂場あそび・三輪車・縄跳びなどをして遊んでいます。遊びの中で、玩具の貸し借りを رفتり、順番を守ったりすることを学んでいます。また、カマキリの孵化の観察や、プチトマト・なす・きゅうりなどの栽培・収穫を体験しています。一方、3歳未満児のクラスでは週4回程度、幼児クラスでは週2回程度、散歩に出かけています。季節の移り変わりを知らせるために安全で自然を感じられるコースを選択するとともに、行先となる公園では、追いかっこ・ポール・かくれんぼ・砂場遊びなどを楽しんでいます。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>誕生日会では子どもたちの歌や手作りの誕生日カードをプレゼントしています</p> <p>保育園ではお正月やひなまつり、子どもの日や七夕、夏祭りにクリスマスなど、季節を感じ取れるような様々な行事を企画・実施しています。子どもたちが季節ごとの行事に興味・関心を持ってもらうため、紙芝居を活用したプログラムを行っています。加えて、毎月、クラス単位で誕生日会を実施しています。誕生日会では、誕生日を迎えた子どもたちに対して、子どもたちの歌や職員の出し物などが行われ、手作りの誕生日カードがプレゼントされます。</p> <p>行事における装飾やプログラムは子どもたちが主体的に取り組めるよう工夫しています</p> <p>運動会や発表会、夏祭りなどの園内行事は、準備の段階から子どもたちが関わる機会を持つようにしています。行事への興味や関心を持ってもらうための工夫として、行事前に各行事に関連する題材を用いた紙芝居や絵本に親しむ●会を設けています。また保育士がコーディネーター役となり、子どもたちが部屋装飾物の製作や行事の内容に関するアイデアを出せるようにしています。</p> <p>運動会や演劇発表会など保護者が参加・見学できる行事を実施しています</p> <p>保育園では季節に合わせて様々な行事を企画し、年間予定表にてまとめ、4月初旬頃、保護者に周知しています。行事の中では、運動会や演劇発表会など、保護者が参加・見学できる行事も企画されています。仕事や家庭の事情などで行事に参加できない保護者のために、クラスだよりに活動報告を掲載しているほか、園のホームページ上にあるブログにも活動内容を掲載し、いつでも活動の様子を閲覧することが出来るようになっていきます。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>延長保育では子どもたちが安心して過ごせるよう、職員が個別に寄り添っています</p> <p>延長保育に関しては、現在1日平均2名程度の子どもたちが利用しています。日中に比べて少人数ということもあり、より細やかに子どもと接することが出来ます。疲れている様子が見られた場合は子どものために部屋の一角に休憩できるスペースを作り、好きな時に体を休めることができるようにしています。時には、心細くなり不安を感じてしまう子どももいるため、落ち着いて過ごしてもらえるよう職員が寄り添う場合もあります。なお、おせんべいなどの軽食を提供し、空腹にならないようにしています。</p> <p>延長保育時間帯には1歳児室に集まって過ごし、園児が多様な人と関わりを広げています</p> <p>夕保育時間帯から順次合同保育となり、延長保育時間帯になると1歳児室に集まって過ごしています。また、延長保育時間帯は職員がシフト制で対応し、常勤職員と非常勤職員の2名体制で現場に入っています。そのため、普段から接しているクラス担任以外の職員と接する機会が増えることになり、園児にとって人と関わりを広げる場になっています。日勤の職員が退勤する前に掃除等を終わらせ、なるべく複数の目で保育をできるようにしています。延長保育を利用する子どもの様子は遅番ノートに記入し、翌日の職員に引き継いでいます。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>栄養士が中心となって食育活動や、個々の状態に合わせた食事提供に取り組んでいます</p> <p>食への興味・関心を深めるために園内で赤しそやナスなどの野菜を育てています。また、園外にも区民農園を借りており、野菜などを栽培しています。収穫した野菜たちは子どもたちが給食室まで運んでいき、様々な食育活動を展開しています。離乳食の進み具合が各家庭の状況に応じて異なることがあるため、それぞれの状態を見極めたうえで、それに応じた食器・食具・形状での提供を工夫しています。又、配慮が必要な子どもには細やかな声掛け、気配りを行い、家庭と連携してのサポートに努めています。</p> <p>栄養士が直接現場を見ながら、食事の進み具合や食具の使い方を確認しています</p> <p>栄養士は子どもたちの食事の様子を直接見て回り、子どもたちとコミュニケーションをとりながら食事の進み具合や食具の使い方を確認しています。また職員会議では、栄養士も参加し、離乳食の食べ具合・形状についての配慮事項、1か月の献立の振り返り、アレルギーの確認、食事に関する要望などを確認しています。</p> <p>マニュアルに基づき、誤食、誤配膳を防止した取り組みを行っています</p> <p>食物アレルギーを持つ園児への対応を記したマニュアルを設けています。1か月の献立が決まったら保護者に食材の確認を得ています。アレルギー対応食を提供する場合はその子の席を他の子の食事と混ざらないように席の配置を工夫しています。配膳間違いを防ぐために、個別トレイでの提供・前日の昼礼での確認・給食室から渡されるバインダーを確認してチェックを入れるなどの対策もしています。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>紙芝居の活用や園外散歩での道路の歩き方などの指導を行っています</p> <p>園児の防災・防犯意識を高めていくために避難訓練を毎月実施しています。また、年に2回不審者訓練を実施しています。交通ルールの指導は、関連する題材の絵本や紙芝居を活用して子どもたちに説明するとともに、園外を散歩している時に横断歩道の渡り方や道路の歩き方などの交通ルールを子どもたちに伝えるようにしています。</p> <p>内科健診や歯科検診など専門機関と連携し、子どもの健康維持に努めています</p> <p>園では、入園前の検診や年に2回行われる内科検診や歯科検診などを実施しており、専門機関と連携して子どもの健康維持に努めています。与薬は基本的に引き受けていませんが、食物アレルギーや熱性けいれんなど、服薬が必要な場合には状況に応じて対応しています。なお、自動体外除細動器(AED)については今後配備される予定です。</p> <p>看護師から保護者に対して子どもの健康管理に必要な情報を提供しています</p> <p>保健だよりは、毎月・季節毎の健康管理などを掲載し発行しています。保護者会には看護師が出席し、子どもの病気予防などの説明を行っています。感染症が発生した場合は、保護者に対してメールの一斉送信、玄関の専用掲示板で情報提供しています。一方、職員は感染症に関する理解を深めるため、職員を対象に子どもが嘔吐した際の清掃方法と感染対策をテーマとした研修を実施しています。SIDSの発生を予防する取り組みとして、午睡チェック表を用いて子どもの健康状態を確認・記録し、健康状態の変化に気づけるようにしています。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p>満足度調査・個人面談・保育参加等の機会を通じて園と保護者の理解を共有しています</p> <p>子育てに関する保護者の価値観や就労状況については、個別面談票、就労状況調査票に記録し把握しています。保育園の日常的なサービスに係る保護者の意向は、行事の感想や「学習プログラム」「職員の接遇」の満足度調査を実施しています。保護者とは、年に2回、年度初めと年度の後半に個人面談を実施しています。また、全クラスを対象として、年に1回保育参加の機会を作っています。</p> <p>保育参観や園行事などで保護者同士が交流する機会を設けています</p> <p>年間行事の中で発表会や運動会、保護者会など保護者が参加できる行事を企画しています。これらの行事を通して、保護者同士が交流する機会を作ったり、子どもの成長や子育てについて互いに共感し合える機会となっています。忙しい日々の生活の中で、保護者が参加できるイベントが開催される際には、できる限り保護者の参加を呼びかけ、子どもの成長を実感していただく機会を作るようにしています。仕事等で参加できない保護者もいるため、ブログ等に活動報告を掲載しています。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の方が来園してバルーンアートや楽器の演奏を披露してもらう機会を設けています</p> <p>地域との関わりに関しては、保護者からの紹介でバルーンアートを披露される方や楽器を演奏して下さる方など、地域の方々が来園する機会が設けられています。また、散歩に出かけた際に消防署や児童館等といった公共施設との関わりも持っています。一方、地域ボランティアや保育実習生等の希望者がいれば受け入れる方針を固めています。今後は高齢者施設や障害者施設とも交流を作り、さらに園児が地域と交流できる機会を広げていきたいと考えています。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	行事における装飾やプログラムは子どもたちが主体的に取り組めるよう工夫しています	
内容①	運動会や発表会、夏祭りなどの園内行事は、準備の段階から子どもたちが関わる機会を持つようになっています。行事への興味や関心を持ってもらうための工夫として、行事前に各行事に関連する題材を用いた紙芝居を行っています。また保育士がコーディネーター役となり、子どもたちが部屋の装飾物の製作や行事の内容に関するアイデアを出せるようになっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	栄養士が中心となって食育活動や、個々の状態に合わせた食事提供に取り組んでいます	
内容②	食への興味・関心を深めるために園内で赤しそやナスなどの野菜を育てています。園外にも区民農園を借りており、野菜などを栽培しています。収穫した野菜たちは子どもたちが給食室まで運んでいき、野菜チップスや野菜ピザを作るなど、様々な食育活動を展開しています。離乳食の進み具合が各家庭の状況に応じて異なることがあるため、それぞれの状態を見極めたうえで、それに応じた食器・食具・形状での提供を工夫しています。また、配慮が必要な子どもには細やかな声掛け、気配りを行い、家庭と連携してのサポートに努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	園独自の要件や感染症の流行等に沿って事業継続計画の見直し・充実に取り組んでいます	
内容③	事業継続計画(BCP)は、震災等の自然災害によりライフラインが不通になった場合を想定して対応の手順を定めています。緊急時の対策本部を東京本部と定めるとともに、復旧期間を1週間と定めています。このような内容について、職員には職員会議において研修を実施し、周知を図っています。併せて、事故、感染症、侵入、災害などの発生要因を職員会議で分析しています。対応の実効性をより高めるために、現在も園独自の要件や感染症の流行等に沿って内容の見直しと充実に取り組んでいます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもたちのやりたい意思を汲み取り、実現していく仕組みを構築しています
	内容	子どもたちが自らやりたい遊びを実行できるようにパーティションで部屋を区切るなど、環境面で可能な限り工夫して取り組んでいます。また、園内行事では、企画する際に、子どもたちからアイデアを出してもらい、園内の装飾や行事の内容について決めるなど、子どもたちの一体感や主体性の向上に繋がる取り組みも展開しています。
2	タイトル	日々の業務の中でチームビルディングを意識して取り組んでいます
	内容	今年度、重点課題として「チームビルディング」を掲げています。園内研修では、園をより良くするために必要な項目を各職員が挙げる機会をつくり、「認める気持ち」「向上心」「伝える力」「判断力」などが挙がりました。職員で共有した項目は一つの用紙にまとめ、職員休憩室に設置し、日々の業務の中で意識できるように工夫しています。また、本研修をきっかけとして職員の主体性や職員同士のつながりが生まれています。
3	タイトル	リスクマネジメントにおいて職員の高い意識と理解に基づいた取り組みが行われています
	内容	法人として、リスクマネジメントに関わるマニュアルの整備や研修の実施について、積極的に取り組んでいます。その成果として、職員一人ひとりの理解や高い意識があることが職員自己評価から明らかになっています。具体的には、「守るべき法・規範・倫理などの徹底・周知」における「職員自身の理解」、「事業所としてのリスクマネジメントへの取り組み」における「事故、感染症、侵入、災害発生の際の要員、対応の分析と再発防止策」について、理解が浸透して意欲的に取り組んでいる状態であることが確認されました。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育園運営に特化したハラスメントと人権マニュアルのさらなる進化が期待されます
	内容	園の運営を担う保育事業部の中期ビジョンに「『選ばれる保育園』となる」を掲げ、その土台に安心・安全な施設運営と職員行動規則を位置付けています。これを受けて園では職員のコンプライアンス強化に力を入れており、運営本部ではコンプライアンスやハラスメントと人権をテーマとしたマニュアルを整備しています。これらのマニュアルは図表やイラストを多用した分かり易い表現になっていますが、その内容は一般企業に勤める社員同士の想定したものが大半を占めておりました。保育所を想定した内容についても整備していくことが期待されます。
2	タイトル	保育理念をより分かりやすく表現するとともに、その実現方法をより具体的に示していくことを目指しています
	内容	保育理念や子どもの成長発達に対する基本的な考え方についてより分かりやすく表現するとともに、どのような手段や技術によって子どもに寄り添い、生活環境を整えるのか、保育の専門家ではない保護者も理解を共有できる内容で説明を尽くすことが重要であると考えています。今後、全体的な計画を積極的に保護者に開示するとともに、保護者の満足を得られている取り組みの内容を把握し直し、園の特徴的な取り組みを論理的に捉えようとしています。
3	タイトル	現状の保育サービスの質に対して、利用者と職員との間に認識の乖離が見られるため、その背景を分析する価値が認められます
	内容	利用者調査の結果において、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」「安全対策が十分取られていると思うか」「行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か」などをはじめとするサービス内容に関連する設問において、全般的に満足度が低い状態であることが確認されました。一方、職員自己評価結果において、大半の職員が自負心を持って保育に携わっている様子が確認され、利用者とのギャップが見られます。このような点について、対策を検討する価値が認められます。